

柳宗理 デザイン

くらしと
かたち
展

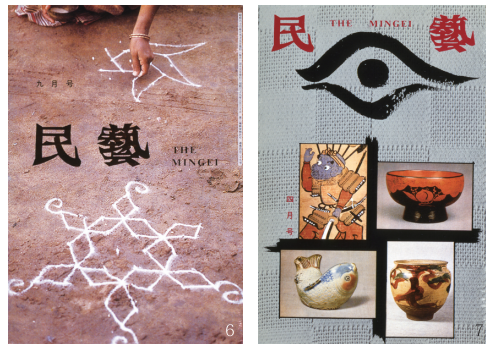
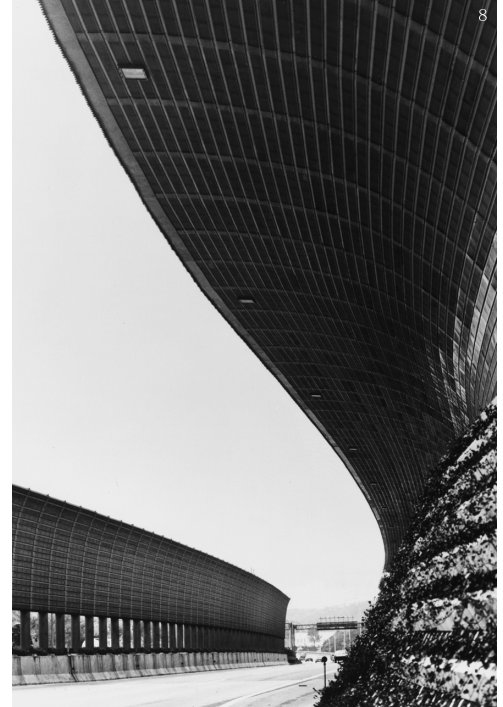
2018年 11月 15日(木) - 25日(日)

会場: 金沢 21世紀美術館 1F 市民ギャラリーA 石川県金沢市広坂 1-2-1
開場時間: 10:00-18:00 入場は閉場の 30 分前まで・最終日 17:00 閉場



1. バタフライ・スツール (天童木工, 1956)
2. 白磁土瓶、白磁湯呑 (岐阜県陶磁器試験場, 1956)
3. 二回転式下皿「パール」(寺岡精工所, 1960)
4. 黒柄カトラリー (佐藤商事, 1982)
5. 和紙ペンダント照明シングルタイプ (1979)
6. 月刊誌「民藝」表紙 (1988年9月号)
7. 月刊誌「民藝」表紙 (1988年4月号)
8. 東名高速道路東京料金所防音壁 (日本道路公団, 1980)
9. トーチホルダー (札幌冬季オリンピック開催実行委員会, 1972)

柳宗理 (やなぎ そ우리 . 本名「むねみち」1915-2011) は戦後日本を代表する工業デザイナーです。1953年に財団法人柳工業デザイン研究会を設立し、生活用品から大型公共構造物まで、暮らしに関わるもののデザインを幅広く手がけました。現在でも多くのデザインが人々の暮らしの中に息づいています。また、金沢美術工芸大学のデザイン教育にも長く携わりました。同大学デザイン科の「手で考える」理念には柳の手で模型を作りながら考えるデザイン手法が映されています。その縁から2012年3月、作品をはじめとするデザイン資料約7000点が同研究会から金沢美術工芸大学に寄託され、資料の調査研究・展示を目的とした「柳宗理記念デザイン研究所」が金沢市尾張町に開設されました。本展覧会では寄託資料から1000点近くを一挙に公開し、デザイナー・柳宗理の軌跡を辿ります。尚、本展覧会は東アジア文化都市2018金沢関連事業「×(かける)プロジェクト」のひとつである「工芸×暮らし」の連携特別展として開催します。



柳宗理 略歴

- 1915 6月29日、東京にて父・柳宗悦、母・兼子の子として誕生
- 1940 東京美術学校 (現東京芸大) 西洋画科を卒業
- 1953 財団法人柳工業デザイン研究会を設立
- 1955 金沢美術工芸大学教授に就任
- 1957 第11回ミラノ・トリエンナーレ招待出品、金賞受賞
- 1977 日本民藝館館長に就任
- 2002 文化功労者として顕彰される
- 2011 12月25日逝去 (享年96歳)



柳宗理 デザイン 暮らしとかたち展

会場：金沢21世紀美術館 1F 市民ギャラリーA 石川県金沢市広坂1-2-1
 会期：2018年11月15日(木)～11月25日(日) 入場無料
 開場時間：10:00-18:00 (入場は閉館30分前まで・最終日は17:00閉場)

同時開催「金沢美術工芸大学教員研究発表展2018 美大のしごと」
 会場：金沢21世紀美術館 B1F 市民ギャラリーB

関連企画

柳工業デザイン研究会会員によるギャラリーツアー
 日時：11月25日(日) 14:00-14:30
 会場：金沢21世紀美術館 市民ギャラリーA
 料金：無料 申込不要

東アジア文化都市2018金沢「×(かける)プロジェクト」
 日中韓・国際シンポジウム「工芸×暮らし」
 日時：11月18日(日) 10:00-18:00
 会場：金沢21世紀美術館 シアター21
 料金：無料 申込不要



主催：金沢美術工芸大学 共催：東アジア文化都市2018金沢実行委員会、金沢市 特別協力：柳工業デザイン研究会
 後援：北國新聞社、NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、石川テレビ、北陸朝日放送、金沢ケーブルテレビネット (順不同)
 問い合わせ：金沢美術工芸大学 TEL 076-262-3531 HP <http://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>